

安全データシート

作成日2017年11月13日
改訂日2025年 4月 4日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	水まわりリセットクレンザー
製品コード	
会社名	株式会社サンワ
住所	〒135-0046 東京都江東区牡丹2丁目12番地4号
電話番号	03-3642-1255
FAX番号	03-3642-5766
メールアドレス	
推奨用途及び使用上の制限	水まわりの各種汚れ落とし（水垢、黒スジなど）

2. 危険有害性の要約

GHS分類	下記記載以外の分類に関しては、「区分に該当しない」とする。
物理化学的危険性	金属腐食性物質 分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口） 区分に該当しない
	急性毒性（経皮） 区分に該当しない
	急性毒性（吸入：蒸気） 区分に該当しない
	急性毒性（吸入：ミスト） 区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性 分類できない
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 分類できない
	呼吸器感受性 分類できない
	皮膚感受性 分類できない
	生殖細胞変異原性 分類できない
	発ガン性 分類できない
	生殖毒性 分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回曝露） 分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（反復曝露） 分類できない
環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性 分類できない
	水生環境有害性（急性） 分類できない
	水生環境有害性（慢性） 分類できない
	オゾン層への有害性 分類できない

ラベル要素
絵表示又はシンボル
注意喚起語
危険有害性情報

なし
警告
皮膚刺激のおそれの疑い
眼刺激のおそれの疑い
金属腐食性のおそれの疑い

当製品はGHS分類上のラベル要素の記載がないが、配合成分（クエン酸）を考慮し、データ不足の為分類できないが、上記の危険有害性情報を記載する事とした。

注意書き【安全対策】

すべての安全注意（SDS等）を読み理解するまで取り扱いしないこと。
保護手袋、保護メガネを着用すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉塵を吸入しないこと。
保護手袋、保護眼鏡を着用すること。
飲み込まないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
容器を密封し、取扱い時にはこぼれないように注意すること。

【救急処置】

飲み込んだ場合
水で口の中をよく洗浄した後、直ちに医師の診断を受けること。
吸入または吸入の懸念がある場合
医師の診断を受けること。
眼に入った場合
直ちに清浄な水で15分以上洗浄し、コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗った後、眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合
付着した部分を水と石鹸で洗い流すこと。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。
医師の診断が必要な場合
製品容器またはラベルを手元に用意すること。

【保管】

直射日光や高温になるところを避け 冷暗所に容器を密閉して保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。

【廃棄】

酸化剤と同一場所で保管しない。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託する。
（不明な場合は購入先に相談の上処理すること。）

国・地域情報

情報なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別
一般名

混合物
研磨剤

化学名又は一般名	化学式	濃度 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
シリカ・アルミナ系研磨剤混合物	非公開	38	非該当	非公開
クエン酸	C6H8O7	0.1-3	非該当	非公開
非イオン系界面活性剤	非公開	1-3	非該当	非公開
増粘剤	非公開	0.1-2	非該当	非公開
分散剤	非公開	1-5	非該当	非公開
香料（レモンライム）	非公開	0.1	非該当	非公開
防カビ剤	非公開	0.02-0.10	非該当	非公開
水	H2O	残量	非該当	—

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	付着した部分を直ちに水と石鹼で洗い流すこと。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	直ちに清浄な水で15分以上洗浄し、コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗った後、眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	水で口の中をよく洗浄した後、直ちに医師の診断を受けること。
吸入または吸入の懸念がある場合	医師の診断を受けること。
医師の診断が必要な場合	製品容器またはラベルを手元に用意すること。
予想される急性及び遅発性症状	データなし
応急処置をする者の保護	データなし
医師に対する特別注意事項	データなし

5. 火災時の措置

消火剤	注水可。霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス等の各種消火剤が有効である。
使ってはならない消火剤	特になし
火災時の特有の危険有害性	塩酸が各種の金属を腐食させ、水素ガスを発生させる恐れがある。
特有の消火方法	1. 火元への燃焼源を断つ。 2. 適切な消火剤を用いて消火する。 3. 周囲の設備等に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際には風上から行き、必ず保護具を着用する。燃焼又は高温により、塩化水素を生成させる恐れがある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	関係者以外の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項	作業の際には、必ず保護具を着用する。
二次災害の防止策	1. 河川、下水道等に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	2. 大量の場合は空容器に回収し、その後ウエス等で完全に拭き取る。 3. 周囲の着火源を取り除く。 大量の場合は空容器に回収し、その後ウエス等で完全に拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気装置・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気装置、全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項	粉末を目に入れたり、吸入しないように注意すること。 アルカリ製品との接触を避ける。 金属と反応するので、適切な材料を選択する。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	
適切な保管条件	1. 直射日光を避け、換気の良い冷暗場所に保管すること。 2. 子供の手の届かない場所に保管すること。 3. アルカリ性のものと一緒に保管しない。
注意事項	製品を乾燥させない様に、使用時以外は密栓すること。
安全な容器包装材料	容器に圧力をかけないこと。圧力をかけると割れることがある。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	設定されていない
設備対策	通常の使用では特に必要ないが、ミストおよび蒸気が発生する場合は、排気装置を設けること。
保護具	
手の保護具	ゴム又は樹脂製の手袋を着用する。
眼の保護具	飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	長期間にわたり取扱う場合、または濡れる場合には長袖作業服等を着用する。
衛生対策	薬剤が付着した衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

- 9. 物理的及び化学的性質**
- | | |
|------------------|-------------------------------------|
| 形状 | 粉末を含むペースト状 |
| 色 | 灰白色 |
| 臭い | レモンライム |
| pH | 4.0-5.0 (10%aq) |
| 融点/凝固点 | データなし |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | データなし |
| 引火点 | データなし |
| 爆発範囲 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 蒸気密度 (空気 = 1) | データなし |
| 比重 (密度) | 1.2-1.3 (g/cm ³) (15°C) |
| 溶解性 | 懸濁液になる |
| オクタール/水分配係数 | データなし |
| 自然発火温度 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| 臭いのしきい (閾) 値 | データなし |
| 蒸発速度 (酢酸ブチル = 1) | データなし |
| 燃焼性 (固体、ガス) | 該当しない |
| 粘度 | データなし |
- 10. 安定性及び反応性**
- | | |
|------------|---|
| 安定性 | 通常の手扱い温度、圧力で安定。 |
| 危険有害反応可能性 | データなし |
| 避けるべき条件 | 粉じん、ミストの発生を避ける。 |
| 混触危険物質 | アルカリ性のもの。金属類 |
| 危険有害な分解生成物 | 酸化剤と反応して塩素ガスを生成する。多くの金属を侵し、可燃性の気体(水素)を生成する。 |
- 11. 有害性情報**
- | | |
|----------------------------|----------|
| 皮膚腐食性 | データなし |
| 刺激性 (皮膚、眼) | データなし |
| 感作性 | データなし |
| 急性毒性LD ₅₀ (ラット) | 区分に該当しない |
| 悪急性毒性 | データなし |
| 慢性毒性 | データなし |
| がん原性 | データなし |
| 変異原性 (微生物、染色体異常) | データなし |
| 生殖毒性 | データなし |
| 催奇形性 | データなし |
- 12. 環境影響情報**
- | | |
|-----------|-------|
| 生態毒性 | データなし |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生体蓄積性 | データなし |
| 土壤中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | データなし |
- 13. 廃棄上の注意**
- 廃棄は関連法規ならびに地方自治体の基準及び地域の条例、規則に従う。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこへ委託処理する。
排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託処理する事。
空容器等を廃棄する場合は、水洗いなど内容物を完全に除去した後処分する。
- 14. 輸送上の注意**
- | | |
|------------|--|
| 国際規制 | |
| 海上規制情報 | I M Oの規定に従う。 |
| 航空規制情報 | I C A O / I A T Aの規定に従う。 |
| 国連分類及び国連番号 | 分類基準に該当しない。 |
| 国内規制 | |
| 陸上規制情報 | 消防法、毒劇物法、労働安全衛生法に該当する場合は、該当規定に従う。 |
| 海上規制情報 | 船舶安全法の規定に従う。 |
| 航空規制情報 | 航空法の規定に従う。 |
| 特別の安全対策 | 運搬に際しては輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にする。
『7. 取扱い及び保管上の注意』に従うこと。
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行なう。 |
- 15. 適用法令**
- | | |
|-------------------------------------|---------------------|
| 労働安全衛生法 | 該当しない |
| 化学物質排出把握管理促進法 (P R T R法) | 該当しない |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない |
| 消防法 | 非イオン界面活性剤(第4類第4石油類) |
| 火薬類取締法 | 該当しない |
| 高圧ガス保安法 | 該当しない |
| 船舶安全法 | 該当しない |
| 航空法 | 該当しない |
| その他の規制 | |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止) | |

16. その他の情報

引用及び参考文献

JIS Z 7253 化学物質安全データシート
JIS Z 7252 GHS分類標準規格
製品安全データシートの作成指針（改訂2版（社）日本化学工業協会）
化学物質の安全データシート（安全衛生情報センター発行）
GHS混合物分類判定システム（GHS JIS版2010-1 経済産業省）
原料メーカー発行の安全データシート

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づき作成しており、新規知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合は、用途や用法に適した安全性の評価と対策を実施の上ご利用下さい。記載内容は情報の提供であって、安全性を保証するものではありません。